

優秀賞



若江直生

設計担当者

若江直生

大阪府建築士会、(株)日建設計



吉野優輔

共同設計者

吉野優輔 水上和哉

大阪府建築士会、(株)日建設計

大阪府建築士会、(株)日建設計



水上和哉

教育施設 | 京都府京都市北区上賀茂本山

京都産業大学 サギタリウス館

構造 | 鉄骨造、
鉄筋コンクリート造

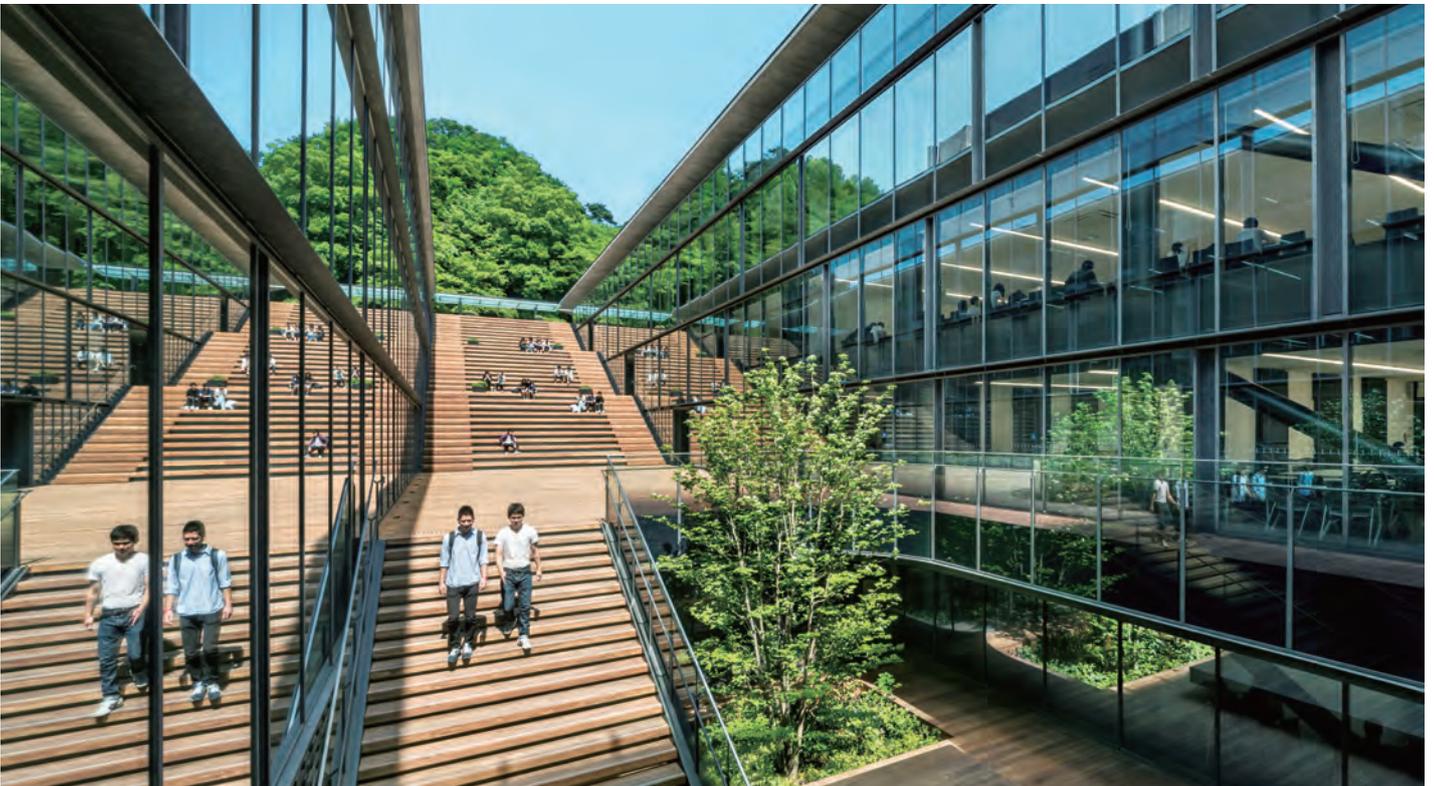
階数 | 地上5階

敷地面積 | 259,078.35㎡

建築面積 | 3,619.81㎡

延べ面積 | 12,962.37㎡

竣工 | 平成28年2月25日



選評

京都の北山、その山腹に展開する京都産業大学キャンパスの新しい校舎である。

斜面に埋め込むかのように北側と南側に2棟の建築を配置し、その中央に東方向へと上昇する斜面の敷地に合わせて階段状の広場を設けるという全体構成は、この場所の地勢や特性に逆らわない素直な解答であり、まず好感が持てた。

その建築の敷地状況から決まった階段状の広場の内側、通常はおろそかになりがちなの内部空間にも階段状の広場の蹴上部分から導入された光を拡散するデバイスがデザインされ、穏やかな自然光の溢れる内部空間が実現している。

また建築の内部、外部を問わず、さまざまな場所に学生たちが溜まったり、談笑したりすることのできる小さな空間が設けられており、敷地形状から決まる建築全体の構成という大きな視点だけでなく、そこで生活する学生たちへの心遣いも垣間見ることができる建築でもある、という点は強く印象に残った。

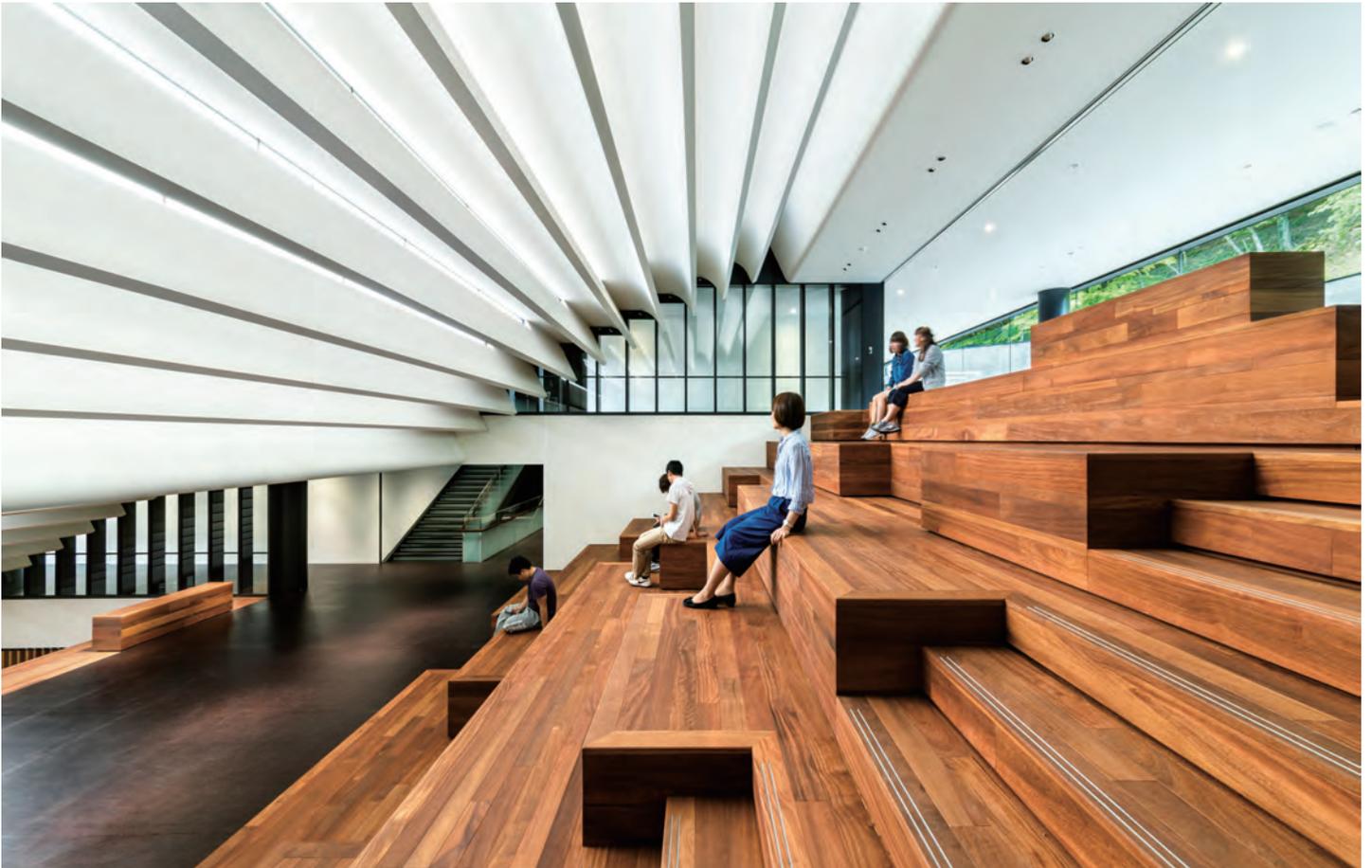
南側にも同じ設計者でさらに新しい計画が進行中とのこと。この建築が大学キャンパスをより一層素晴らしい場所へと変容させる起爆剤となる力を感じさせる建築でもあったことを付記して、現在進行中の計画にも期待したいと考える。

(岸 和郎)



2

- 1 山並みの緑や学習の様子がガラスに映し出される、大階段を核とする教育・活動の舞台
 - 2 深い軒庇と寄棟屋根の光庭側外観
 - 3 光を導くPC大階段を屋根とし、自然光で明るい階段状ラウンジ
 - 4 屋内外の居場所をつくる段状バルコニーを介し、活動が広場に溢れ出す広場側ファサード
 - 5 広場に面し、多様な場を持つワンルームの語学学習・交流の場
- 写真…東出写真事務所



3



4



5

